

2 ベストプラクティス事業

事業名称：啓発におけるヘッドスタートプログラム

【事業概要】

若年層の投票率の向上の寄与を目指して、次世代である小学6年生を対象に学校の授業時間を提供いただき、模擬投票を実体験する、啓発ミニ講座を開催した。

【アピールポイント】

1. チャレンジ性（課題の難易度、課題の先駆性、課題の重要度）

1 時限の授業時間内で、選挙の重要性を理解し、選挙を疑似体験することで興味を持ってもらい、家族との対話の中での啓発活動の広がりも期待する。アンケートの分析では、将来の投票行動を期待でき、さらに新たな手法の若年層啓発のヒントも含まれている。

2. 創意工夫（独創性・斬新性、経済性・効率性、協働・連携の展開度）

模擬投票では、区選管で保管し、実際に使っている投票箱・記載台・交付機・計数機さらにはセンキョンの着ぐるみを活用するとともに、案内状・選挙公報・氏名掲示等については自前で作製するほか、実際の投票用紙と同じ材質の投票用紙で投票してもらうなど工夫を凝らし、低予算で行っている。

3. 成果の実現度（成果の大きさ、成果のインパクト、市民の満足度）

実施した小学校からは、啓発ミニ講座を受けた児童全員から、明るい選挙啓発ポスターコンクールに応募があり、アンケートでは児童から上々の反響、先生からは、次年度の再依頼もいただいた。

4. 将来性（成果の持続性、成果の発展性、汎用性・波及効果）

平成 23 年度には、小学高学年を対象に啓発ミニ講座を継続し、可能であれば中学生に対象も拡大したい。さらに市選管主体での実施では 1 年に開催できる数に限度があるため、パワーポイントを含め基本パッケージを作成し、区選管主体での実施が実現できれば、市内で相当数の学校での開催が見込まれる。